

サソリとカエル

国際ロータリー第2580地区
2023-24年度ガバナー

栃木 一夫

ゴードン・マッキナリー RI 会長、第2700地区ガバナー吉田知弘氏と記念撮影
ロータリー研究会にて（2024年11月開催）



元旦に起きた能登半島地震で犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。そして何より一刻も早い復旧、復興を祈念いたします。

当地区では、被災地支援の募金をさせていただいております。いただきました募金は被害が最も大きかった第2610地区へ送金いたします。ご支援、ご協力をお願いいたします。昨年は関東大震災から100年を迎え、1月17日には阪神淡路大震災から29年目となり、南海トラフ地震も高い確率で予想されており、首都直下型地震はいつ発生してもおかしくない状況です。災害がある度に、準備が万全か？と考えさせられます。2日に起きた羽田空港での事故でも明らかなように、日頃の訓練や備えは自分たちを守ることにになります。それゆえ地区内で災害が発生した場合、会員間の連絡方法等、災害対応マニュアルをクラブも地区も作っておくことも大事ではないでしょうか。

2月は平和構築と紛争予防月間です。サソリとカエルの寓話があります。各々が持つ性格や本能、欲求や運命、宿命など人間の持つ性^{サガ}が、紛争が無くならない一因になっているのかと考えてしまいます。

1匹のサソリが川岸を歩いていた。向こう岸に渡るようなところはないかと探していたのだ。そこにカエルが現れた。サソリは、蛙に「俺をおぶって向こう岸まで連れて行ってくれないか」と頼んだ。すると、蛙は言った。「冗談だろう。途中でお前は俺を刺すに違いない。そうしたら、俺は溺れてしまう。」サソリはカエルに言い返した。「なんて理屈の通らない言い草だ。

君が死んだら俺まで溺れてしまうじゃないか。」蛙は納得し、サソリを背負って川を渡り始めた。ところが川の真ん中で蛙は背中に鋭い痛みを感じた。「どうして刺したお前も溺れてしまうのに」カエルはサソリと一緒に沈みながら叫んだ。すると、サソリは言った。「分かっているけどやめられない。それが俺の性なんだ。」

カエルとサソリが国家だったら。戦争は愚かな事と両国とも知っています。しかし「国益だから」「侵略するのが国の性」だからと紛争は無くなりません。

2月23日はロータリー創立記念日です。ポール・ハリスは、次のことばを残しています。

「文明の栄枯盛衰は、人間の思慮の有無によって決まります。人類又は国家のできる最大の事は、個人または国家の考慮を促すことです。」

時代は移り変わっていますが、人類の性は良い変化をしているのでしょうか？人の性より考慮が勝っていかなくてはなりません。

2024年の歌会始は「和」が勅題でした。「平和」「調和」「なごむ」は日本人の性であるはずですが。千玄室大宗匠がお話になる和敬静寂の精神です。お互いの心を和らげ相手のことを慎み敬い、茶室（その時、その場）の雰囲気や清浄な状態に保つことです。そうした中から思慮深い知恵が生まれるのではないのでしょうか。

今年は甲辰年、「春の日差しが、あまねく成長を助す年」だそうです。竜が天に上るような勢いをもって持続可能な元気なクラブ実現に向け、足元をしっかりと踏みしめていきましょう。そして世界の平和構築、紛争予防に向けてロータリー活動をしていきましょう。

沖縄分区新崎ガバナー補佐活動報告書

沖縄分区ガバナー補佐 新崎 康幸 (那覇北 RC)

〈担当：那覇西・宜野湾・浦添・那覇南・那覇北・沖縄首里〉

2023-24年度は、新型コロナウイルスが5類に移行したことで、通常の社会生活が戻りつつある状況下でスタートしました。例会や様々な奉仕活動が再開できたことを、非常にうれしく思います。沖縄分区では、4年ぶりに人数制限なしのIMが盛会で終了しました。担当する6クラブの活動報告について報告いたします。

○那覇西 RC

那覇西 RC (中村敦会長) は、創立 62 年、会員数は 54 人です。例年事業として、鹿児島中央 RC との共同開催における鹿児島湘南高校及び沖縄尚学高校との青少年交流事業 (3 日間) を開催するほか、クラブ独自の那覇西奨学金制度を設け、琉球大学の学生に対して、奨学金を交付しています。また、炉辺会議やゴルフコンペを定期的に開催し、親睦の和を深めています。その他、毎年例会場のハーバービューホテルでの献血活動を実施して、那覇商業高校インターアクトクラブの生徒さん達を例会に招待し活動報告を行いました。今年度は台北旭日 RC と友好締結を交わしております。

○宜野湾 RC

宜野湾 RC (平仲絢子会長) は、創立 58 年、会員数は 28 人です。今年度はカトリック中学高等学校インターアクトクラブを創立しました。2023 年 11 月には沖縄分区インターシティミーティングを設営し、沖縄分区全 12 クラブが結集して盛会に事業を完了しました。クラブの対象地域は、例会場のある宜野湾市と近隣三町村 (中城村、北中城村、北谷町) と広範囲に広がりがあがるのも特徴の一つです。社会奉仕活動においても宜野湾市、北谷町社会福祉協議会へのフードドライブを贈呈しております。今後は台湾・中和圓通 RC との友好クラブ締結を予定しています。

○浦添 RC

浦添 RC (松尾晋哉会長) は、創立 57 年、会員数は 25 人です。今年度は青少年奉仕に特に力を入れ、浦添市内の各児童館にニーズの調査を行っております。昨夏には前田高地慰霊碑周辺の清掃活動を行い、今後、昭和薬科大学付属高等学校インターアクトクラブと共同で行う定例の活動をしていく方針です。また、会員の親睦を重視し、2、3 か月ごとに夜間例会を開催して

います。去る 10 月の日台親善会議には会員家族含め 19 人で参加して、姉妹クラブ台湾・蘇澳 RC との交流事業も開催しております。

○那覇南 RC

那覇南 RC (新垣勲会長) は、創立 49 年、会員数は 32 人で構成しております。対象地域は那覇市南部、豊見城市、糸満市と広範囲にわたっています。名誉会員である山川仁豊見城市長とともに夏、秋、年末年始の交通安全県民運動、街頭指導を実施したことで豊見城警察署長より優良団体表彰を受けました。また、炉辺会議や企業訪問を定期的に開催して会員の相互理解と親睦を深めています。今後は、友好クラブの富山南、高松南、東京臨海西、札幌南 RC との共同事業、サンゴの植樹活動を計画しております。

○那覇北 RC

那覇北 RC (新垣徹会長) は、創立 14 年、会員数は 23 人です。ポリオ根絶の募金活動を、那覇看護専門学校校長、生徒と共同で開催しました。今年度は、同校において、学生と将来の夢を語り合う 2 回目の「夢フォーラム」を開催します。また、3 回目となる渡嘉敷島のビーチクリーンを同校と共同で開催する予定です。2 月には横浜港北 RC とのゴルフ交流会、夜間合同例会を計画しております。

○沖縄首里 RC

沖縄首里 RC (田中久光会長) は創立 1 年、会員数は 56 人です。設立当初は 26 人の会員でしたが、約半年間で 30 人の会員を増強しました。例会は月 2 回、リアル (ハイブリッド) 例会とオンライン例会です。移動例会を兵庫県丹波市にて開催し、懇親を深めています。また、沖縄首里クラブがスポンサークラブとなり、県内初の衛星クラブ、沖縄首里女性活躍ロータリー衛星クラブを設立、チャーターメンバー 22 名 (女性 19 人、男性 3 人) でスタートしました。2024 年 3 月 8 日には、クラブ創立記念事業「国際女性デー OKINAWA」を開催する予定です。女性の地位向上と活躍する社会を応援する素晴らしいイベントに期待が高まります。社会奉仕活動として、那覇新都心花いっぱいプロジェクトを定期的に支援し、今後も地区補助金を活用したネパールへの教育環境支援事業を計画しております。

ガバナー補佐通信⑤

多摩分区 6 クラブの結束力

多摩分区ガバナー補佐 浦川 哲男（東京東大和）

＜担当：東京青梅・東京東村山・東京福生・東京東大和・東京武蔵村山・東京秋川＞

○前年度の準備状況

2023年4月9日（日）～10日（月）石和温泉「かげつ」に於いて現新分区連絡会を行い、多摩分区ロータリアンの絆を深める事が出来ました。6月9日（金）にパレスホテル立川にて、東京武蔵村山 RC をホストクラブとして2023-24年度第一回分区連絡会を行い、6クラブの会長・幹事・地区副幹事・地区役員に出席をいただき、ガバナー補佐報告から始まり、6クラブ会長・幹事・地区役員の発表報告をしていただきました。

○今年度の活動状況

7月1日より多摩分区ガバナー補佐として、正式に活動を始めました。7月18日より自クラブである東京東大和 RC への挨拶訪問から始まり7月20日に東京秋川 RC へ訪問をし、7月26日に東京武蔵村山 RC へ表敬訪問。7月27日に東京東村山 RC 表敬訪問。8月1日に東京青梅 RC へ表敬訪問。8月2日に東京福生 RC へ表敬訪問と1回目の挨拶訪問は、滞りなく終了しました。

その後、栃木ガバナー公式訪問2週間前の訪問を8月22日から東京東大和 RC。23日東京武蔵村山 RC。29日東京青梅 RC の3クラブへ打ち合わせに虎井分区幹事代理と伺いました。9月1日（金）には第2回分区連絡会を東京秋川 RC をホストクラブとして東京秋川駅前・ルピアホール 3F にて開催し、ガバナー補佐報告、各クラブの活動報告、地区役員の活動報告等が発表されました。9月5日（火）に多摩分区で最初の公式訪問が東京東大和 RC にて開催され、クラブ協議会の打ち合わせを行い、協議会にて各委員長に発表、栃木ガバナーに講評をいただきました。その後、通常例会を行い、栃木ガバナーに卓話をしていただき、記念撮影の後、閉会となりました。

翌日9月6日（水）は東京武蔵村山 RC の公式訪問となりました。9月12日（火）は東京青梅 RC の公式訪問でありました。他クラブの担当委員長の発表は、それぞれ特色があつて大変に興味深く聞かせていただきました。翌日9月13日（水）東京福生 RC。9月14日（木）は東京秋川 RC へ虎井分区幹事代理とともに、栃木ガバナー公式訪問2週間前の打ち合わせに伺いました。9月27日（水）に、東京福生 RC へガバナー公式

訪問。9月28日（木）は、東京秋川 RC のガバナー公式訪問へ栃木ガバナー、横山地区幹事に虎井分区幹事代理とともに帯同し、両クラブの個性的な報告、発表を聞く事が出来て新しい発見をいたしました。

10月13日（金）は多摩分区ゴルフコンペを東京バーディーに於いて11組にてコンペを行い、好天気恵まれて、楽しく親睦を計り開催する事が出来ました。ありがとうございます。11月2日（木）東京東村山 RC へガバナー公式訪問2週間前の打ち合わせと挨拶に虎井分区幹事代理と伺いました。11月10日（金）第3回分区連絡会を東京青梅 RC をホストクラブとしてアリーナ青梅にて開催されました。ガバナー補佐の報告から始まり各クラブ会長、幹事報告、地区役員報告を行いました。

11月16日（木）多摩分区の最後の公式訪問に東京東村山 RC へ、栃木ガバナー、横山地区幹事、虎井分区幹事代理と伺いました。心のこもった発表をしていただき感動いたしました。

11月28日（火）はパレスホテル立川に



て、多摩分区合同例会を開催しました。栃木ガバナー、横山地区幹事、石川ガバナーエレクト、地区副幹事の佐藤様、山本様、木村様にご臨席をいただき、6クラブの会長、幹事を始めとする多摩分区ロータリアンの、ご支援とご理解ご協力をいただき、合同例会を盛大に開催する事が出来ました。

栃木ガバナーの「ロータリアンの心に火をつけよう」に沿って合同例会に参加の皆さんの心にひとつでも記憶に残る事柄がありましたら、幸いです。



連載「メイクアップ」に行こう！⑦

60周年に向けて「入りて学び、出でて奉仕」

東京浅草ロータリークラブ

2023-24 年度会長 田原 績

○2024年4月に創立60周年

東京浅草ロータリークラブは、東京北ロータリークラブを親クラブとして、1964年4月13日に創立されました。



今年4月には創立 浅草ビューホテルでの例会

60年を数えることとなります。還暦(60周年)を迎えるにあたり、今年度のクラブテーマは「粋」とさせて頂きました。一文字ですが、様々なイメージが広がる言葉でもあります。この言葉の中に「他の人々や世間の為に利己を抑制し自らが活動する」という意味が含まれているとすれば、それはロータリークラブの目指す奉仕の精神に繋がっているのかもしれませんが。そして今年度は「入りて学び、出でて奉仕せよ」の精神



例会での体操(月1回開催)

の実践を目指していくつかの活動を行っています。その中から「学び」と「奉仕」の事例を1件ずつ紹介させていただきます。

○中国哲学史の卓話を実施(全12回)

まず、「学び」に関しては、毎週の例会での卓話がロータリアンにとって学びの場であることは、どの年度でも変わりはないと思います。今年度は、1人の先生に年間を通して毎月お越し頂き、計12回の卓話をお願いすることと致しました。具体的には、東京大学東洋文化研究所所長の中島隆博教授による、著書「中国哲学史(諸子百家から朱子学、現代の新儒家まで)」を教材にした卓話を行っています。今後の予定は、2/19(月)、3/4(月)・4/1(月)・5/13(月)・6/3(月)

に予定しています。中島先生の卓話にご興味がある方は、ぜひメイクアップにお越し頂ければ幸いです。



「生の音楽」を届けるプロジェクト(金曾木小学校)

○藝大生の生の演奏を子どもたちに

次に「奉仕」に関しては、複数の奉仕活動の中で、今年度、地区補助金を申請させていただいた「台東区の子どもに『生の音楽』を届けるプロジェクト」を紹介させていただきます。この企画の主旨は、地元の子どもたちに東京藝術大学学生による生の演奏を聞く機会を提供する企画です。子どもたちにとっては、演奏する姿や生の音を感じ、音楽への関心を持つ機会となり、また、藝大生にとっては、演奏発表の機会を持つことと、クラブから学業支援金を受け取る機会ともなります。具体的には、年間4回の実施を予定しております。既に、7/7 田原小学校・9/15 金曾木小学校・10/31 浅草小学校での演奏を終えることができました。特に、浅草小学校では学校側の希望もあり邦楽の演奏を届ける機会となりました。先生にとっても邦楽の演奏を聴く機会は珍しいとのことで、複数の先生から初体験との声を聞きました。4回めは、2月14日に石浜小学校で実施予定です。



「生の音楽」を届けるプロジェクト(浅草小)

○多くの会員が活動できる奉仕を実施

その他、自治医科大学のモンゴルに於けるてんかん治療(特に手術スキル)向上の為に、研修医師の受け入れ事業への協賛など、国際奉仕活動に関しても大きな成果を見ることができました。地元においては、子ども食堂を運営する、NPO 法人台東区の子育てを支え合うネットワークへ協賛し、浅草の老舗のお弁当を子供たちに届ける活動の継続など、これからもなるべく多くの会員が奉仕活動に関わることができるような工夫を続けてまいります。

クラブデータ：東京浅草 RC

例会日 月曜日 12時30分~13時30分

例会場 浅草ビューホテル

(東京都台東区西浅草3-17-1)

ビジターフィー 4,000円

クラブ事務局

TEL: 03-3847-4747

E-mail: asakusarotary@gmail.com

Web: https://asakusa-rc.org



website

連載「メイクアップ」に行こう！⑧

創立 40 周年！温故知新で行う積極的な奉仕活動

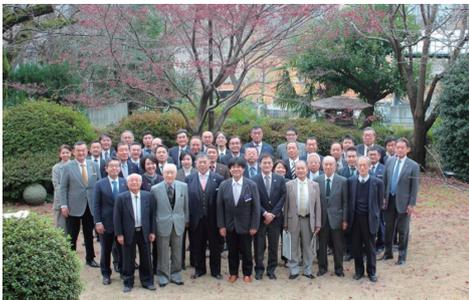
東京上野ロータリークラブ

2023-24 年度会長 富坂 伸吾

○クラブ紹介

東京上野ロータリークラブは1984年1月14日に創立され、以来多くの諸先輩方のたゆまぬ努力と多くの方々を支えられ、今年度創立40周年を迎える年度となりました。また、クラブの活性化には、「会員増強」は必要不可欠です。クラブのメンバー全員の強い意識と行動力で、前年度12名の会員増強が実現し、また今年度も既に4名の新たな会員を迎えました。現在会員数は56名（名誉会員含む）、平均年齢も60.6歳と若返っております。クラブに新しい風が吹き、諸先輩の経験・知恵と相まってより良いクラブ活動が実施できるよう、親睦活動や楽しく参加したくなるような例会を心がけています。

そして創立40周年を迎えるにあたっては、これまでの歴史を振り返ってクラブを見つめ直し、ロータリークラブの基本理念である「奉仕の理想」のもと、一年をかけて様々な奉仕活動を実施しています。是非当クラブの例会や奉仕活動にご参加ください。共にロータリーライフを楽しみましょう。



○2023-24 年度会長方針

「ロータリーを学び、社会・地域に奉仕しよう」を掲げました。クラブの現状を見つめ直し、良い伝統は継承し新しい文化も取り入れ、より良い変化を生み出し、「持続可能な元気なクラブ」を実現していきます。創立40周年という節目の年に、毎週の例会・奉仕活動・委員会のあり方など、個々が基本に立ち返り、「ロータリー」を見つめ直し、より良い変化を生んでいくそんな一年にしていきたいと思っております。



創立40周年記念クリスマス家族望年会

○創立40周年記念事業

2024年3月18日、浅草ビューホテルにて、記念式典・祝賀会を開催します。また、献血活動や上野湯島地区浄化パトロールなど多くの奉仕事業を実施しています。ここで主な活動をご紹介します。

(1) オープンフォーラム（2023年12月7日）



文京シビックホール大ホールで開催しましたオープンフォーラムには、多くのロータリアンや地域・企業の方、総勢1,300名を超える皆様にご登録頂きました。「SAMURAI BLUE」ことサッカー日本代表を率いる森保一監督、西野朗前監督、元日本代表中山雅史氏をお迎えし、「温故知新から学ぶチームビルディング」をテーマにパネルディスカッション形式で開催。「躍進する日本代表の現状」や「地域社会へ貢献することの重要性」をお話し頂き、また中山氏からは「全員が切り札」、「戦略に余白を持し、それをプレーで埋めてほしい」などの名言も飛び出し、ロータリークラブや企業でのより良いチーム作りへの多くのヒントが頂けた事と思います。ご参加くださいました皆様、ありがとうございました。

(2) 旧奏楽堂コンサート（2024年4月26日）

青少年育成の為の継続事業として、年一回実施しています。奏楽堂は明治23年建築された日本最初の木造建築の音楽ホールであり、今年度は東京藝術大学の学生22名によるバッハやモーツァルト等の「弦楽合奏」を予定しています。旧奏楽堂の厳かな雰囲気と藝大生による素敵な音色を聴きにお越しくください。

クラブデータ：東京上野 RC

例会日 月曜日 12時30分~13時30分
 例会場 上野精養軒本店
 （東京都台東区上野公園4-58）
 ビジターフィー 5,000円（軽食3,500円）
 クラブ事務局
 TEL： 03-5814-2491
 E-mail： office@tokyo-ueno-rc.com
 Web： https://www.tokyo-ueno-rc.com



website

災害時のメンタルヘルス対応

新年を祝っておりました元旦に、能登半島地震という大変心が痛むことが起きました。被災された皆さまに、心からお見舞い申し上げます。今回はロータリアンとして支援に関わる人のために、被災者自身、被災者に関わる方々が災害のメンタルヘルスについて知っておくべきポイントをお伝えします。

○災害ストレスとストレス障害

災害は多くの人にとって予期しない出来事であり、大きな心理的な負担を与えます。災害によって家財を失ったり、親しい人が犠牲になったり、生活に大きな変化や将来の生活へ不安が突然もたらされます。このような重大な出来事のあとに、心身の変調をきたすことは、いわば人間の正常な反応です。睡眠障害や不安、孤立感、イライラ、思考力低下や無気力に陥ることがあり、それに伴い、身体面でも頭痛や胃腸症状、持病の悪化なども起こります。行動面でもけんかになりやすく、引きこもりがちになったり、子供がえり、飲酒、喫煙の増加や過食などストレス反応が出ます。このような急性ストレス反応は大部分の被災者は、家族や友人など身近な人の支え、また自分なりの対処行動によって1カ月以内に回復します。焦らず受け止めていくことが被災者自身、また周囲の人にとって大切なことです。しかし一部の人には、被災による心的外傷は、時が経ってもその体験が過去のものとならず、不調症状が長引くことがありますので注意しなければなりません。症状が被災後1か月以上長引く場合には、PTSD（外傷後ストレス障害）が疑われます。早めに医療機関の受診をお勧めします。

○被災者自身がすべきこと

まずは食事と睡眠など日常生活のリズムは崩さないこと心がけましょう。心が不安定な時ほど身体の健康管理は大切なのです。また独りで抱え込まず、家族や親せき、近所同士で声を懸けあい、「人とつながり」をより重視しましょう。最近では行政の電話でのカウンセリングサービスなどが充実して来ました。カウンセリングは、日本では文化的にまだ浸透してませんが、人に話を聞いてもらうことは、自分のこころの安心、整理に繋がります。症状が改善しないときは、医療機関、保健センターなどの行政機関を頼りましょう。自分ひとり、または家族だけで解決しようと思わず、サポートを希求する行動も大切です。

医学博士・産業医 矢島 新子（東京神田 RC）

○支援者としてすべきこと

①傾聴がポイント

被災体験を聞いてあげることが、被災者のストレス反応を軽減します。ゆっくりと話を遮らず聞き、そして共感してあげましょう。ただ聞くだけでなく、相手の感情を受け止めてあげ、途中で相手の話を繰り返して表現してあげることも大切です。「～が大変だったんです」と言われたら「～が大変だったんですね」などと繰り返すことで、自分のことを受け入れてくれているという安心感を与えることができます。逆にこちらの聞きたいことを聞くのは避け、無理に聞きだそうとせず、また災害を思い出させるような聞き方も避けなければなりません。そして、安易な励ましや助言も禁物です。とにかく相手のペースで相手を全面的に受け入れる姿勢が大切なのです。

②怒りへの対応

被災直後の混乱の後、復旧の時期である「幻滅期」には怒りや不満が限界に達します。感情をぶつけてくるがありますが、ぶつけられたときに、「その感情は自分に向けられたものではない」と再認識し、まずは深呼吸し心を落ち着かせて対応しましょう。怒りを遮るのではなく、感情を受け止めた後に、具体的な話を聴き、問題解決をしてあげる姿勢を見せることが大切です。「怒っても仕方ない」などと、最初から相手を否定するのは避けましょう。

③深い悲しみへの対応

泣くという行動には意味があるので抑える必要はありません。大切なもの、生活、人を失ったことへの自然な反応です。落ち着いてゆっくりと話を聞いてあげましょう。周囲の人はそれに巻き込まれすぎないことが大切です。一定の距離を保つことを常に心がけて、対応しましょう。



矢島 新子（やじま しんこ）

ドクターズヘルスケア産業医事務所代表・山野美容芸術短期大学客員教授
ロータリー財団奨学生としてパリ第一大学大学院留学。東京医科歯科大学医学部を卒業後、研修医を経て同大学公衆衛生学博士課程修了。東京女子医科大学附属女性生涯健康センター（閉院）にてメンタルケア外来を10年間担当した。ドクターズヘルスケア産業医事務所では産業医・保健師による産業保健サービス提供。メンタルヘルス対策、働く女性の健康が専門であり、企業研修、産業医向け研修を実施している。

著書「ハイスベック女子の憂鬱」洋泉社

「健診・人間ドッグはもうやめなさい」アーク出版 など多数

ご厚意に対し、深く感謝申し上げます

- ▶マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
 - 7回 鈴木 義雄 [東京東江戸川]
 - 3回 野村 幸史 [東京武蔵野]
 - 三澤 建美 [東京武蔵野]
 - 1回 須賀 精二 [東京東江戸川]
 - 猪野 弘行 [東京東江戸川]
- ▶ポール・ハリス・フェロー
 - 小澄 健士郎 [東京武蔵野]
 - 島田 満吉 [東京武蔵野]
- ▶米山功労者・メジャードナー
 - 16回 荒川 和幸 [東京麴町]
 - 瀬間 義信 [東京葛飾]
- ▶米山功労者・マルチプル
 - 6回 青山 信之 [東京新都心]
 - 5回 江副 碧 [東京紀尾井町]
 - 4回 鈴木 一行 [東京神田]
 - 3回 伊豆 隆義 [東京新都心]
 - 2回 佐々木 智 [東京新都心]
 - 白坂 桂一 [東京新都心]
 - 飯塚 保人 [東京紀尾井町]
 - 富沢 みよ子 [東京板橋セントラル]
 - 1回 吉田 雅俊 [東京新都心]
 - 前田 信吾 [東京新都心]
 - 茨田 浩之 [東京紀尾井町]
 - 高橋 ゆき [東京紀尾井町]

[哀悼] 謹んで哀悼の意を表します

東京城北ロータリークラブ
 甲斐 宏 (かい ひろし) 会員
 逝去日 2023年12月4日 享年77
 入会日 1983年12月2日
 株式会社エーケーダイカスト工業所
 代表取締役社長
 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

東京江北ロータリークラブ
 ベルマン ピーター会員
 逝去日: 2023年12月18日 享年72
 入会日: 2009年7月21日
 ベネファクター、米山功労者

東京福生ロータリークラブ
 富田 勝也 (とみた かつや) 名誉会員
 逝去日 2024年1月15日 享年79
 入会日 1985年5月25日
 (2023年7月1日~名誉会員)
 有限会社富田屋 代表取締役
 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

ガバナーナイト開催チャレンジ中!

シンガポール国際大会にあわせて、現地で本地区が主催する「国際ロータリー第2580地区ガバナーナイト」について、最少催行人数の120名に達した時点で開催を決定いたします。現在110名以上の方にすでに申し込みを頂きました。第二次締切まで、一ヶ月を切りました。ぜひお申し込みください。

◎第二次締切 2023年2月28日(水)

日時 2024年5月26日(日)

19:00-21:00 (受付18:30~)

会場 PAN PACIFIC SINGAPORE

7 Raffles Boulevard, Marina Square

会費 お一人40,000円

(ドレスコード: スマートカジュアル)

お申し込み・詳細は各クラブ事務局まで



2026-27年度本地区ガバナー決定

去る2023年12月19日付にて、地区指名委員会が東京小石川ロータリークラブ会員 谷一文子(たにいち あやこ)氏を2026-27年度本地区ガバナー(ガバナーノミニージェジグネート)候補者に指名した旨を、地区内クラブに公表いたしました。指定期限までに他の対抗候補者の推薦がありませんでしたので、地区指名委員会の指名通り、谷一文子氏が2026-27年度本地区ガバナーに決定いたしました。

地区大会当日登録受付

本地区の地区大会は2024年2月28日-29日に開催されます。本会議と懇親会は、当日参加登録を受け付けます。

登録費: 20,000円(会員)

※後日クラブ事務局へ請求致します

本会議: 2024年2月29日(木) 13:00点鐘

第2580地区クラブ数・会員数

○2023年12月31日時点

クラブ数 73RC

正会員数 3,022名(内女性291名 9.62%)

入会者数: 19名(内女性2名)

退会者数: 35名(内女性5名) 純減: 16名

○2023年7月1日時点

正会員数 2,874名(内女性251名 8.73%)

純増 148名